

**日本とスペインの首脳による共同声明**  
**～平和、成長とイノベーションのためのパートナーシップ～**  
(概要)

※ (斜体・下線) は、首脳会談後に交換式を行った協力文書（全4件）

**前文**

- 「日本スペイン交流400周年」を契機に二国間関係を飛躍的に強化する方針を確認。
- 基本的価値を共有する日本とスペインの協力関係を確認。
- 最近の「日本・スペイン・シンポジウム」で採択された提言の重要性を確認。
- 日本スペイン友好通商航海条約150周年となる2018年に向けて、以下の内容を中心とする「平和、成長とイノベーションのためのパートナーシップ」を推進することを確認。

**1. 政治・安全保障**

(1) 安全保障・防衛協力

- 法の支配に基づく海洋の安全と航行の自由の確保に向けて協力。
- 両国外務省の政治レベル及び高級実務レベルによる政策対話の強化。
- 安倍総理から、「積極的平和主義」に向けた決意を表明。

(2) 中南米に関する政策対話

- イベロアメリカ・サミットへの日本のオブザーバー参加の意向をスペインが歓迎。
- 中南米を担当する高級実務者どうしの協議を定例化。

(3) 地域情勢

- シリアについて、化学兵器禁止機関（OPCW）の活動及び国連安保理決議2118を歓迎し、シリアがこれらに従って行動することを要請。
- マリ・サヘル地域の安定化に向けて引き続き協力。
- 北朝鮮が核・ミサイル開発を継続していることに重大な懸念を表明し、関連安保理決議及び六者会合共同声明に従って行動することを要求。拉致問題を含む人道上の懸念に遅滞なく取り組むことを要求。
- イランがEU3+3やIAEAと有意義な交渉を進めることを期待。

**2. 経済**

(1) 優先分野

- 日本・スペインそれぞれの経済再生に向けた努力を相互に評価。
- 「日本再興戦略」の「戦略市場創造プラン」で挙げられている医療、再生可能エネルギー、インフラ、観光促進を含む地域社会の再生の4つは、日本とスペインの協力分野として、大きな潜在性を持つことを確認。この認識の下で、両国は、
  - ①医療分野でのイノベーションに向けた協力を推進。
  - ②インフラの長寿命化、インフラの検査・診断手法、新素材の開発について協力。
  - ③双方向の観光促進策について情報共有と意見交換を進める。

④G20 の場における合意事項の実現に向けて協力。

⑤第三国への共同投資を推進。この観点から、国際協力銀行（JBIC）とスペイン開発銀行間で署名された協力覚書を歓迎。

⑥省エネと再生可能エネルギー分野での協力を推進。

⑦両国の食文化を共に世界に向けて発信。

#### （2）経済連携協定（EPA）と戦略的パートナーシップ協定（SPA）

○自由貿易が成長と雇用創出の鍵であると確信し、EPA 及び SPA の早期締結の重要性を認識。

#### （3）新興国市場における協力

○新興国市場において、日本とスペインの企業間協力や、相手国のビジネス環境向上支援を推進し、両国の相乗効果を創出。

○日本企業の中南米進出においてはスペインが、スペイン企業のアジア進出においては日本が、それぞれ知見を提供していく方針を確認。

○これらを実現していくため、日本貿易振興機構（JETRO）とスペイン貿易投資庁との間の協力覚書署名を歓迎。

#### （4）税関

○日西税関相互支援協定の署名を歓迎。

### **4. 科学技術及び地球規模課題**

#### （1）エネルギーと原子力安全

○新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）とスペイン科学技術開発センターがマラガ市で進めているスマートコミュニティ事業などの再生可能エネルギー分野の協力や、競争市場におけるエネルギーの効率的な配分に向けた政策協調を強化。

○両国原子力当局間の情報共有を進めるための覚書が署名されたことを歓迎。

#### （2）環境

○2020 年以降の温暖化ガス削減枠組みについて、すべての締約国に適用可能で公平かつ実効性のある法的枠組みの創設に向けて協力。

#### （3）その他

○ナノサイエンス及び核融合技術に関する協力の強化。

○ポスト 2015 年開発目標に関する協力の推進。

### **5. 文化・人的交流**

○文化の発信に向けた協力の推進と、双方の言語学習者増加への期待を表明。

○若者の交流を促進する観点から、ワーキング・ホリデー制度導入に向けた協議を加速化。

○ラホイ首相から、2020 年東京オリンピック・パラリンピック招致への祝意を表明。2020 年に向けたスポーツ交流の促進で一致。

（了）